各　位

平成24年11月16日

会　社　名　　ニッケ(日本毛織株式会社)
代表者名　　取締役社長　　佐藤　光由
(コード番号 3201　東証・大証各第一部)
本社所在地　　大阪市中央区瓦町3丁目3番10号
問い合せ先　　取締役常務執行役員 経営戦略センター長　　瀬野　三郎
(TEL.06－6205－6610)

「2013～2015年度 中期経営計画」について

ニッケグループは、「2013～2015年度中期経営計画(NN120第2次中期経営計画)」を策定しましたのでお知らせ致します。

創立120周年(2016年度)の節目に向けた羅針盤として、2009年度よりスタートした「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」では、ニッケグループの目指す方向性とあるべき企業像を明確化し、6つの事業分野で不断の改革と新規事業の開拓に挑戦し、成長発展を目指して参りました。この結果、NN120第1次中期経営計画(2009～2011年度)最終年度の2011年度には、リーマンショックにより落ち込んだ業績を、連結売上高876億円、連結営業利益50億円まで回復することができました。また、前中期計画の実績を検証し次期中期計画の足掛かりとする期間と位置付けた2012年度は、生産性向上への取組や事業の選択と集中を進めた結果、2011年度営業利益を上回る見込みです。

一方、ニッケグループを取り巻く経営環境は変化のスピードを速めており、不確実性がますます増大しています。この状況下で、より収益性に重点を置いて持続的な成長発展を遂げるために、事業運営体制をシナジー発揮や事業展開をより加速しやすい組織へ一部見直し、顧客価値の向上・創造やグループ総合力の一段の強化を図ることにより、連結売上高1000億円、連結営業利益70億円を達成し、更に上を目指すことといたします。

記

1. 事業運営体制

(1)事業領域(事業部組織)の一部見直し

事業領域を統合再編し以下の4事業に区分する。

<table>
<tr><th colspan="2">変更前(～2012 年 11 月期)</th><th></th><th>変更後(2013 年 11 月期～)</th></tr>
<tr><td colspan="2">衣料繊維事業本部</td><td>→</td><td>衣料繊維事業本部</td></tr>
<tr><td colspan="2">資材事業本部</td><td rowspan="2">→</td><td rowspan="2">産業機材事業本部</td></tr>
<tr><td colspan="2">エンジニアリング事業部</td></tr>
<tr><td colspan="2">開発事業本部</td><td rowspan="2">→</td><td rowspan="2">人とみらい開発事業本部</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コミュニティ
サービス事業部</td><td>ライフバリューサービス部</td></tr>
<tr><td>通信・新規サービス部</td><td rowspan="2">→</td><td rowspan="2">コンシューマー事業本部</td></tr>
<tr><td colspan="2">生活流通事業部</td></tr>
</table>

① 衣料繊維事業本部は次の事業内容・事業戦略を継続する。

事業内容 ： ウール（天然素材）を主素材とした衣料用素材・製品の開発・製造・卸売

・毛糸の製造及び販売
・ユニフォーム織物素材や製品の製造及び販売
・紳士及び婦人向けファッション素材や製品の製造及び販売

事業戦略 ： ～衣料繊維素材の世界のトップメーカーをめざす～

原料から織物までの一貫生産体制を基盤とした品質への信頼を強みに、地球環境に配慮したもの作りを推進する。
製造技術の深耕と開発力の強化により、「高品質・高機能・高付加価値」素材を市場へ提供し、着実な成長と同時に収益力向上を図る。
高い技術力に裏打ちされた企画力により、「ニッケ（NIKKE）」ブランドの価値を高め、積極的なグローバル戦略を推進する。

② 資材事業本部とエンジニアリング事業部を統合し産業機材事業本部とする。

事業内容 ： ウールから化合繊、糸から紐・フエルト・不織布の開発・製造・卸売
産業用機器の設計、製造、販売
環境・エネルギーシステムの設計・施工・メンテナンス

・産業用資材事業、生活用資材事業
・産業用ＦＡ事業、画像事業、エネルギー事業、

事業戦略 ： ～エンジニアリング事業と資材事業の統合により
最高の顧客価値提供をめざす～

2つの事業を統合し多様な人材を結集することにより、既成概念にとらわれない開発を積み重ね、新たな市場を切り拓く。
グローバル市場に向けて最高の顧客価値を提供し、持続的成長を維持する。

③ 開発事業本部とコミュニティサービス事業部のライフバリューサービス部を統合し、人とみらい開発事業本部とする。

事業内容 ： 「街作り」を主眼とした地域共生型のサービス提供および不動産開発

・介護事業、スポーツ事業、アミューズメント事業
・商業施設運営事業、不動産事業

事業戦略 ： ～「街作り＝暮らし作り」を通じて人々の未来を豊かにしていく～

不動産ディベロッパー事業の成長を目指し、長期的な視点での「街作り」開発を推進し、地域共生による資産価値の向上を図る。
地域へ貢献する地域No．1のサービスを創出・提供していくことにより、収益向上を目指す。

④ コミュニティサービス事業部の通信・新規サービス部と生活流通事業部を統合し、
コンシューマー事業本部とする。

事業内容 ： 商品開発や拠点開発による消費者への商品・サービスの提供

・寝装品、イージーオーダー、手編毛糸、100円ショップ向け卸売
・馬具・乗馬用品、社交ダンス用ドレス
・携帯電話販売事業、キッズランド事業、その他新規事業

事業戦略 ： ～生活者に近い所にあって豊かな生活を開発・提供していく～

消費者のニーズを深掘り、先取りすることにより、生活文化を創造する
商品・サービスを開発し、豊かな生活を提案していく。
迅速な経営判断により最適な拠点や流通を開発し、事業規模の拡大と
収益向上を目指す。

(2)開発力の強化

研究開発センターへ衣料繊維事業・産業機材事業の研究開発部門を集約・統合し、
一体で中長期テーマに取り組む。場所はニッケ印南工場内に配置する。

2. 経営目標

	2015年11月期 目標
連結売上高	1000億円以上
連結営業利益	70億円以上
連結純利益	40億円以上

以 上